

町内会の役割

区内には、七十三の町内会と、それらが集まって組織される六つの連合町内会があります。町内会は、誰もが快適で安全な生活を送れるように、地域に住む人たちが力を合わせて課題を解決したり、親睦を深めたりする活動を行っている団体です。それぞれの地域に合わせ、福祉活動や環境整備、交流行事などが活発に行われています。これらの活動は、町内会に加入している人たちの協力で支えられています。加入は、あくまで任意ですが、地域の人たちが快適に生活していく上で、重要な役割を担っていると言えるで



▲自主防災組織は、災害などから地域を守るため、組織的に救助活動などを行う体制を整え、防災マップを作成したり消火訓練や応急手当てなどの講習会を行ったりしています

しょう。

また、阪神・淡路大震災が発生したとき、住民の救出活動により、多くの生命が助かったように、いざというとき頼りになるのは隣近所の人たちとも言われています。多くの町内会では、自主防災組織が編成され、防災訓練などが行われています。

安心して暮らせるまちを目指して

町内会では、地域の状況に合わせてさまざまな活動を行っています。

青葉地区にある「青葉町紅葉会」は、五百十世帯が加入の会は、防火意識や応急手当ての知識、技術の向上を推進していく「防火・防災まちづ

くりモデル事業」のモデル地区になっており、防災セミナーを開催したほか、今春には避難場所などを記載した防災マップを作成し、各世帯へ配布を予定しています。また、少子・高齢化対策として福祉活動も積極的に推進しており、高齢者世帯の状況や要望を調査するためアンケートを実施併せて、高齢などで非常時の救援を希望する世帯の把握にも努めています。会長の泉順造さんは、「お互いに年をとって、地域で支え合わなければならぬ時代になってきています。会員の声を聞き、協力しながら取り組んでいきたいですね」と話してくれました。会の活動などを知ってもらうため、役員会で話し合われた内容を毎月回覧するほか、年二回会報を発行。ホームページも開設して、会員とのつながりを大切に考えています。



▲泉順造会長

～町内会で行われている主な活動～

